

# 3年間ありがとうございました！

このたび、私中澤は、檜原村の地域おこし協力隊としての3年間の任期を終え、卒業することとなりました。

活動を続ける中で、多くの方に支えていただきました。関わってくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。



## 体操教室について

体操教室は、3年間で200回以上開催してきました。皆さんと一緒に体を動かすことは、健康づくりだけでなく、地域のつながりを感じる場でもありました。



## 大切にしてきたこと

大切にしてきたのは、村内全域で活動すること、そして一度きりではなく継続して関わることでした。さまざまな地域で、何度も顔を合わせる中で、人とのつながりを少しずつ深めてきました。



## 身体調整について

身体調整では、これまでに約200人の方にご利用いただき、累計1000回以上実施しました。身体のことだけでなく、暮らしのことや日々の話も聞かせていただき、私自身にとっても大切な活動となりました。



## 地域活動について

滝まつりの夏・冬の運営補助、畑仕事、草刈りなど、さまざまな地域活動に関わらせていただきました。日々の作業を通して、地域の暮らしは多くの積み重ねによって支えられていることを実感しました。



## 卒業後の活動について

私はこれからも檜原村・南郷地区に住み続け、この地域での暮らしを続けていきます。また、これまで取り組んできた仕事を今後も変わらず継続していきます。



## 空き家相談窓口について

空き家相談窓口は、2年間にわたり取り組んできた活動の一つです。地域の課題に向き合いながら取り組んできたこの活動は、卒業後も継続していきます。



／ 空き家の相談受付中 ／

空き家ありませんか？

檜原村役場むらづくり推進係まで！

☎042-519-9556

## 檜原に咲く花

カタクリはユリ科に属する多年草です。早春の落葉樹林の林床を美しく彩る「スプリング・エフェメラル(春の妖精)」の代表格で、四月頃から淡い紫色の花を咲かせます。うつむき気味に咲く姿はしおらしくも可憐な佇まいです。夏前には地上部が枯れ、翌年の春まで休眠状態になります。芽を出し、花を咲かせ、葉を茂らせることができるのは春先の数か月間ということになります。そのため栄養を蓄えるのに長い時間が必要となり、発芽から開花まで七、八年かかります。

田中澄江さんの随筆集「花の百名山」(昭和五十五年)にて、御前山に咲くカタクリの群生地が紹介されています。当時はバスが何台も乗り入れるなど賑わっていたと聞いたことがあります。やがて盗掘や踏み荒らしによって徐々に数を減らし、近年は増えすぎたニホンジカの食害によって更に減少しており、東京都レッドリストによると「絶滅危惧Ⅱ類」に分類されています。かつては身近な植物であったカタクリですが、時代や環境の変化によって、現在では保護が求められています。(林)



林 陽浩 (はやしあきひろ)  
1976年生まれ。東京都出身。  
千足在住。着任13ヵ月目。  
趣味は登山と観瀑。  
推しは三頭山と菅平の滝。

## おとう しんじ 御飼神事に参加した高橋です

3月1日、本宿で行われた伝統ある神事「御飼神事」に参加しました。

神事に向けては、「切火」と呼ばれる禊(みそぎ)を4日間行い、心身を清めます。参加者は「当番」と呼ばれ、その期間中は日常の何気ない行動にも制限がかかり、普段とは異なる不自由な生活を送ることになります。しかし、その不自由さがあるからこそ、日常を見つめ直す良い機会にもなりました。

本番当日は、当番全員で朝から準備や神殿内外の清掃を行います。そして夜になると、「六根清浄(ろっこんしょうじょう)」と大声で唱えながら川へ向かい、禊(みそぎ)を行います。(右下画像)

その後、火打石で起こした火を使って米を炊き、炊きあがったご飯を神様へ奉納します。火種を拾う役が1人、あとの7人は、火が灯るまで順番に火打石を打っていきます。火打石を打てる回数は1人3回までと決められており、火がつかなければ再び川へ入り禊を行います。今回、火付け役の1番手は私が務めさせていただきました。2度目の挑戦で火種が落ち、筆頭当番のお孫さんが火を拾ってくれたおかげで、無事に火をつけることができました。今年の当番は全員で8人。火がついた瞬間、全員がふんどし姿のまま抱き合い、雄たけびをあげて喜びを分かち合いました。36歳にして、まるで部活動で優勝したときのような高揚感を味わえたことは、何にも代えがたい貴重な体験でした。終わってみれば、ただただ「楽しかった」の一言に尽きます。今回一緒した7名の当番の皆さん、そして関係者の皆様、本当にありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

余談ですが、翌日は声がまったく出ず、バイト先で受付や電話対応ができず、ご迷惑をおかけしました。来年は観客として参加し、今年のお返しにヤジを飛ばしながら楽しみたいと思います(笑)(高橋)



## 檜原ゆず炭酸、 1600本出荷できました!

昨年7月、檜原村のゆずを使って試作した炭酸飲料「ゆずソーダ」と「ゆずコーラ」が、これまでにそれぞれ800本ずつ、合計1600本出荷できました。使用しているのは、村内で収穫させていただいたゆず果汁です。「転生コーラ」というニックネームもつけていただきました(笑)  
「転生コーラ」は、こちらのお店で取り扱っていただいています。

### 【村内】

カフェせらぎ/森の風/ギャラリー喫茶やまびこ/山ごはんカフェヒノハラテラス/えでん珈琲/手打ちうどんはたの/山の店/檜原村観光協会/特産物直売所やまぶき屋/ばんば特産物直売所/えでん商店/兜屋旅館/檜原温泉センター数馬の湯/檜原森のおもちや美術館 ミュージアムカフェさとやま食堂/Village Hinohara/Oine Village/NPO法人つ・む・ぎ いてんべえ/ナチュラルヘアサロン コフェル

### 【村外】

アシストコーヒーヒーロースタリー/五縁堂/喫茶・ギャラリーおいわけ

また、「むらのおマーケット」というイベントに出品していただいたり、ワークショップのおみやげとして持ち帰ったりしていただきました。最近では「弘沢の滝 冬まつり」の水瀑クイズの賞品として使っていただいています。在庫が少なくなってきたり、出荷が始まっているため、追加で400本ずつ生産し、出荷が始まっています。収穫にご協力いただいた皆さま、販売にご協力いただいているお店の皆さま、そして手に取っていただいた皆さまのおかげで、ここまで活動を続けることができました。心より感謝申し上げます。(松本)



地域おこし協力隊へのご依頼は  
檜原村役場 むらづくり推進係へ

☎042-519-9556

協力隊各種 SNS は  
QRコードから! →



### 編集後記

この時期はスギやヒノキなどの花粉の飛散が本格化してきました。私は症状が重い方で、花粉の多い日には1日でティッシュユ1箱を使い切ってしまうほど鼻水に悩まされます。無理をせず、早めに診療所で自分にあった薬を処方してもらい、上手に付き合いながら春を楽しんでいきたいですね(高橋)



地域おこし協力隊 メンバー

まつもと 松本 よしふみ 圭史 なかざわ 中澤 だいき 大樹

たかはし 高橋 まさき 政樹 はやし 林 あきひろ 陽浩

村内で見かけたら、お声かけください!